

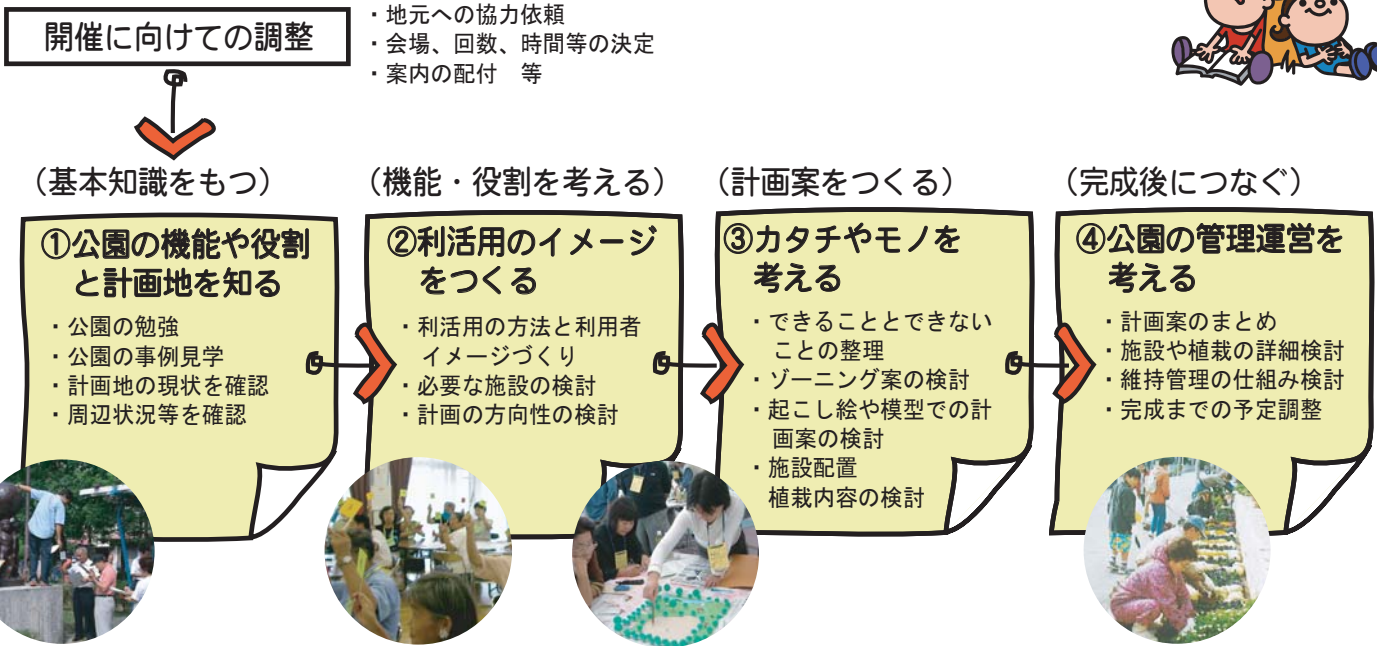


公園づくりワークショップの流れ

わたしたちは、地域性を大切にするのはもちろん、地域住民に愛され、活発に利活用や管理運営が行われるように、地域住民の方々と一緒にワークショップによる「まちなじむ人にやさしい」公園づくりを行っています。わたしたちのワークショップでは、計画案をつくるだけでなく、住民参加による公園の維持管理にも踏み込み、ワークショップ本来の力を引き出すよう努めています。



ワークショップのステップ



プログラムの例

○街区公園の場合

1回のステップに対して1回のワークショップを開催する、全4回のプログラム。公園の事例見学を初回の前、または初回と2回目の間に行う場合もある。

①回目

公園を知ろう

- ・開催概要の説明
- ・アイスブレイク
- ・公園の思い出
- ・公園って何？
- ・計画地のエエとこアカンとこ

②回目

公園のイメージを考えよう

- ・こんなことがしたい
- ・こんなものがほしい
- ・大切なこと、気になること

③回目

公園の模型をつくろう

- ・残念アイデア
- ・どこでどんなことをする？
- ・模型をつくろう

④回目

公園を育てよう

- ・計画案をまとめよう
- ・シンボルツリーを選ぼう
- ・公園を育てる仕組みを考えよう
- ・今後の予定

○近隣公園の場合

規模が大きくなると機能が複雑になり、大きさや広さの実感も難しくなるので、事例見学を行ったり、計画段階での開催回数を増やすことで対処する。

①回目

公園を知ろう

- ・開催概要の説明
- ・アイスブレイク
- ・公園の思い出
- ・公園って何？
- ・計画地のエエとこアカンとこ

②回目

他の公園を見よう

- ・公園つうしんぼ
- ・マネしたいこと

③回目

公園のイメージを考えよう

- ・こんなことがしたい
- ・こんなものがほしい
- ・大切なこと、気になること

④回目

公園の計画案を考えよう

- ・残念アイデア
- ・どこでどんなことをする？
- ・計画案をつくろう

⑤回目

公園の計画案をまとめよう

- ・計画案をエエとこアカンとこ
- ・計画案をまとめよう
- ・施設や植栽を考えよう

⑥回目

公園を育てよう

- ・計画案を確認しよう
- ・シンボルツリーと遊具を選ぼう
- ・公園を育てる仕組みを考えよう
- ・今後の予定



※1回あたり2時間30分ぐらいの開催時間を確保すると、進行がスムーズになります